

2020 年度「自立援助ホーム支援助成」助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人ココロミクラフティ KC ホームズ

代表者・役職名 氏名 ホーム長 秋田 照洋

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

生活を豊かにする環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

福祉に従事していた経験を活かし、「地域を、暮らしを、人生を」「心見て、試みることで」「ともに創る」という理念の基、2017年4月に法人を設立しました。現在正会員は24名です。前述のような理念のもと2017年11月に今までの経験を活かし、自立援助ホームを開設しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

建物の老朽化に伴い、ホーム内が非常に寒いことや、設備等の不便さを感じるようになってきたため、ホームを令和2年4月に移転しました。今まで使用していた家電は、ホーム開設に合わせて寄付をいただいたり、あまり経費がかからないように間に合わせて準備したため、古いものが多く、サイズなどの面で不便を感じていました。また、ステップハウスでの支援を一名始めたため、当初予算より大幅に経費がかかっており、ホームの運営は厳しい状況だったため、申請いたしました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

大型の家電や什器(冷蔵庫、洗濯機、オーブンレンジ、炊飯器、掃除機、食器棚)の買い替えを行いました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

生活に必要な家電はほぼ新品に買い替える事が出来ました。おおきな冷蔵庫が用意できたため、利用者の個々のスペースを十分に確保できたことはもちろん、夏場暑くなる時期でも冷蔵庫に夕食などを保管できる余裕も生まれたため、食中毒など衛生管理面でも活躍そうです。オーブンレンジを使用してお菓子作りは早速利用者が取り組んでいましたが、使い方に慣れるまで一苦労しており、職員と色々話をしながら楽しそうに行っております。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

助成をしていただき本当にありがとうございました。今後は共同生活において譲り合うことの大切さを伝えながら、今まで我慢してきた生活から解放され、健康的な生活の経験値を蓄えられるように活用してまいります。

7. 参考資料

支援対象事業で作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

